

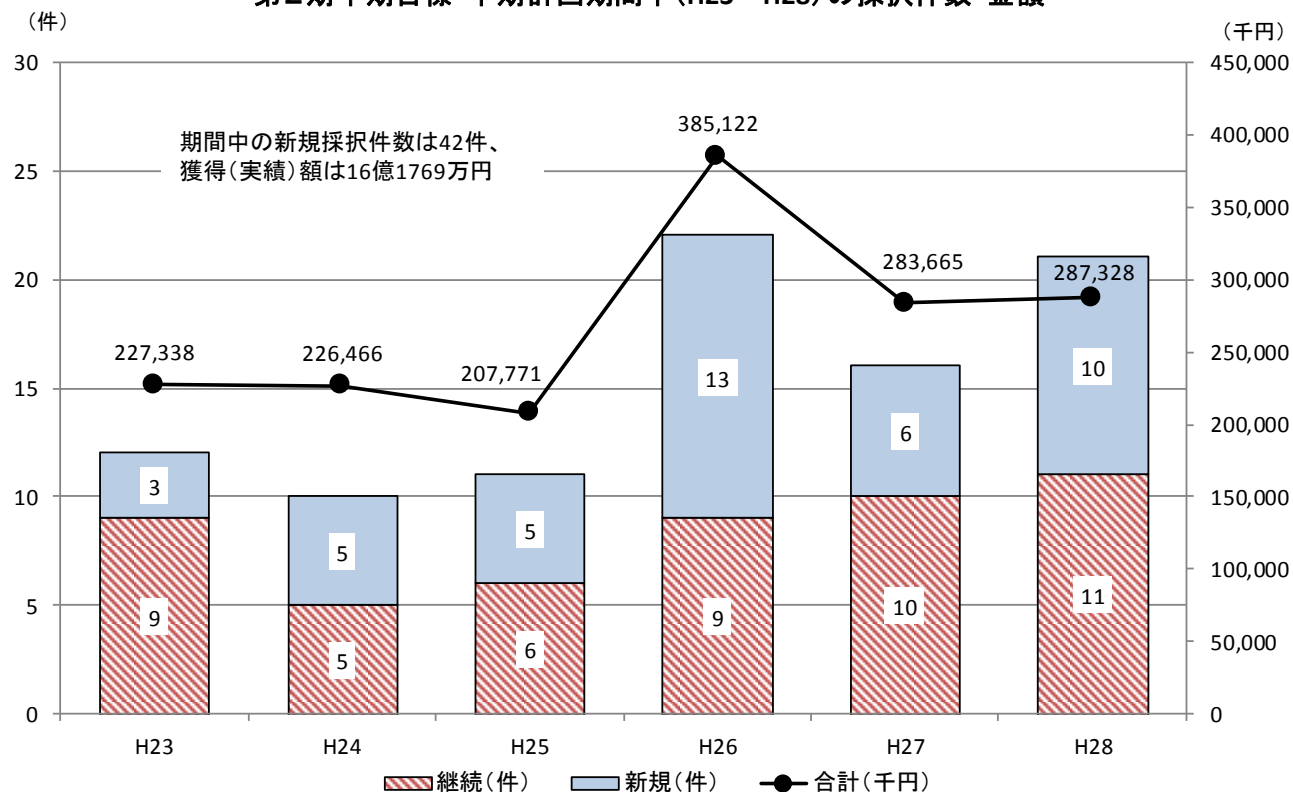
9 教育

9-1 教育補助金等プログラム

○ 新規採択プログラム一覧(第2期中期目標・中期計画期間中(H23～H28))

年度	新規 件数	プログラム・事業名	取組名称	部局名
H23	3	科学技術人材育成費補助事業(文部科学省)	テニュアトラック普及・定着事業(機関選抜型)	工学研究科、生命環境科学研究科、理学系研究科
		教員研修モデルカリキュラム開発プログラム(教職員支援機構)	宇宙・天文を題材とした観察・実験についての教員研修モデルプログラムの開発	工学研究科
		科学コミュニケーション連携推進事業(科学技術振興機構(JST))	中高生のための模擬人工衛星作りワークショップ～君も”はやぶさ”を作ろう!～	工学研究科
H24	5	次世代科学者育成プログラム(科学技術振興機構(JST))	「未来の博士」育成ラボ	地域連携研究機構
		ポストドクター・キャリア開発事業	ポストドクター・キャリア開発事業(大阪市立大学)	21世紀科学研究機構
		大学間連携共同教育推進事業(文部科学省)	教学評価体制(IRネットワーク)による学士課程教育の質保証	高等教育推進機構
		産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(文部科学省)	産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実	人間社会学部
		がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(文部科学省)	7大学連携先端的がん教育基盤創造プラン(近畿大学)	看護学研究科
H25	5	次世代科学者育成プログラム(科学技術振興機構(JST))	「未来の博士」育成ラボ	地域連携研究機構
		「域学連携」地域活力創出モデル実証事業(総務省)	若年者の育成を通じた将来の担い手づくりと地域力向上(新宮市、大阪市立大学)	人間社会学部
		教員講習開設事業費等補助金(文部科学省)	免許状更新講習障害者支援事業	高等教育推進機構
		リーディング大学院構築事業費(文部科学省)	システム発想型物質科学リーダー養成学位プログラム	工学研究科、生命環境科学研究科、理学系研究科
		地(知)の拠点整備事業(文部科学省)	大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践	地域連携研究機構
H26	13	グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)(文部科学省)	地域産官学連携型持続イノベーション・エコシステム拠点:科学技術駆動型イノベーション創出プレイヤー養成プログラム	21世紀科学研究機構
		課題解決型高度医療人材養成プログラム(文部科学省)	在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成	総合リハビリテーション学類
		大学教育再生加速プログラム(AP)(文部科学省)	(I・II複合型)	高等教育推進機構
		産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(文部科学省)	【テーマB】地域インターンシップの体制構築を通じたキャリア教育の充実	教育福祉学類
		次世代科学者育成プログラム(科学技術振興機構(JST))	「未来の博士」育成ラボ	地域連携研究機構
		女子中高生の理系進路選択支援プログラム(科学技術振興機構(JST))	第9回 女子中高生のための「関西科学塾」	地域連携研究機構
		日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)(科学技術振興機構(JST))	科学技術交流活動コース(Aコース):5件	理学系研究科、工学研究科、現代システム科学域
		若者のためのライフデザイン支援事業(若者層男女共同参画啓発事業)(大学コンソーシアム大阪/大阪市)	結婚・出産・子育てしても、仕事を続けて活躍したい!～社会人の先輩に学ぼう!～	女性研究者支援センター
医工連携事業化推進事業(総合特区調整費)(経済産業省・近畿経済産業局)	関西イノベーション国際戦略総合特区における医療機器等開発支援体制の構築に向けた非臨床試験ニーズ等の調査	獣医臨床センター		
H27	6	地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)(文部科学省)	わかやまの未来を切り拓く若者を育む“紀の国大学”の構築(幹事校:和歌山大学)	COC事務局
		科学技術人材育成費補助事業(文部科学省・科学技術振興機構(JST))	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(旧女性研究者研究活動支援事業)【特色型】	ダイバーシティ研究環境研究所
		日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)(科学技術振興機構(JST))	科学技術交流活動コース(Aコース):2件、(Bコース):1件	工学研究科、看護学研究科、現代システム科学域
		教員講習開設事業費等補助金交付申請書(文部科学省)	免許状更新講習障害者支援事業	高等教育推進機構
H28	10	次世代科学者育成プログラム(科学技術振興機構(JST))	「未来の博士」育成ラボ	地域連携室
		日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)(科学技術振興機構(JST))	科学技術交流活動コース(Aコース):7件、(Cコース):2件	工学研究科、生命環境科学研究科、看護学研究科、総合リハビリテーション科学研究科、人間社会システム科学研究科、現代システム科学域、放射線研究センター

第2期中期目標・中期計画期間中(H23～H28)の採択件数・金額



○件数・実績額の推移

(件・円)

区分		H23	H24	H25	H26	H27	H28	新規件数合計
事業件数	新規	3	5	5	13	6	10	42
	継続	9	5	6	9	10	11	
	合計	12	10	11	22	16	21	金額合計
実績額	新規	20,981,504	35,588,713	67,049,247	155,868,481	21,163,553	20,234,962	320,886,460
	継続	206,357,481	190,878,271	140,722,127	229,254,133	262,501,525	267,093,887	1,296,807,424
	合計	227,338,985	226,466,984	207,771,374	385,122,614	283,665,078	287,328,849	1,617,693,884

※1) 第2期中期目標・中期計画期間の総括として昨年度までの集計・掲載方法を見直して表示。

※2) 表は教育等補助金のみを掲載。研究推進課及び高専が担当する補助金・受託事業等を除く(以下同様)。

○申請件数・採択件数・採択率の推移

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計
申請件数	7	10	8	18	19	18	80
採択件数	3	5	5	13	6	10	42
採択率	42.9%	50.0%	62.5%	72.2%	31.6%	55.6%	52.5%

○新規採択事業の規模(金額)内訳

採択事業の分類	H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計
1億円以上		1					1
5,000万円以上			1	1			2
1,000万円以上	2			2	1		5
501万円以上		1	2				3
101～500万円		2		8	4	10	24
0～100万円以下	1	1	2	2	1		7
合計	3	5	5	13	6	10	42

※) 各年度の新規採択事業の交付内定額を分類。空欄は該当なし。

9-2 授業ふり返り

○学修自己評価

(1から6の6段階で評価)

H28年度 質問項目 (全学共通)	現代 システム 科学域	工学域	生命 環境 科学域	地域 保健 学域	高等 教育 推進 機構	全体
この授業科目全体を通しての到達目標(授業目標)を理解した上で、授業を受講し始めましたか？ (1:全く理解せず、受講した---6:完全に理解した上で受講した)	4.55	4.48	4.48	4.29	4.59	4.52
この授業にどの程度出席しましたか？ (1:ほとんど出席しなかった---6:ほとんど出席した)	5.67	5.81	5.90	5.87	5.81	5.81
その日の授業の目標・目的が何かを理解した上で、授業を受けていましたか？ (1:全く理解せず、受けていた---6:完全に理解した上で、受けていた)	4.55	4.43	4.52	4.37	4.62	4.54
1回あたりに平均すると、この授業の予習・復習にどれくらいの時間を費やしましたか？ (1:30分未満---6:3時間以上)	2.18	2.75	2.73	2.05	2.43	2.44
この授業で出てきた新しい概念や事項について、その背後にある理論や考え方で理解しようと取り組みましたか？ (1:全く理解しようとはしなかった---6:常に理解しようと取り組んだ)	4.52	4.44	4.54	4.25	4.45	4.44
授業と自宅学習によって、前回の内容をどの程度理解して、次の回の授業に臨むことができたか？ (1:全く理解せず、次の授業に臨んだ---6:完全に理解した上で、次の授業に臨んだ)	4.24	4.20	4.30	4.09	4.42	4.31
この授業科目全体を通しての到達目標を、どの程度達成できたと感じていますか？ (1:ほぼ0%---6:ほぼ100%)	4.61	4.59	4.62	4.41	4.78	4.67
この授業科目を通して得た学修成果(知識や技能など)に、どの程度満足していますか？ (1:非常に不満である---6:非常に満足している)	4.73	4.56	4.73	4.63	4.78	4.72

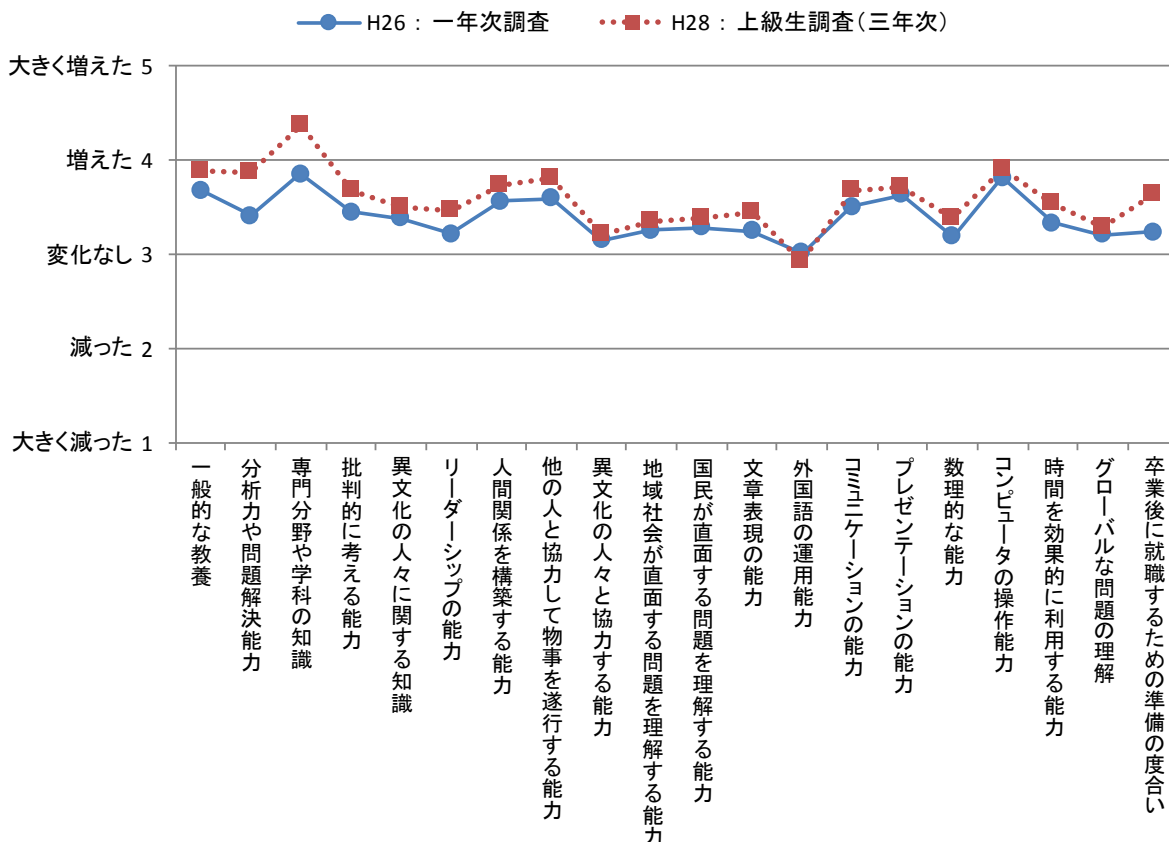
○学生から見た授業(全学平均)

H28年度 質問項目 (全学共通)	シラ バス	授業 計画	成績 評価 方法	配布 教材	授業中 の環境 維持	説明の 仕方	板書の 仕方	授業 内容	授業 時間外 学習の 支援	宿題 の量	学生に 対する 接し方	提出物 等に 対する 教員 からの フィード バック
この授業の良かった点	13.9%	30.6%	24.6%	22.8%	13.6%	29.4%	12.7%	43.0%	5.9%	17.2%	23.2%	8.9%
この授業で、改善した ほうがよいと思う項目	1.5%	2.7%	3.7%	3.4%	2.4%	6.8%	6.0%	4.5%	1.9%	3.8%	2.7%	2.7%

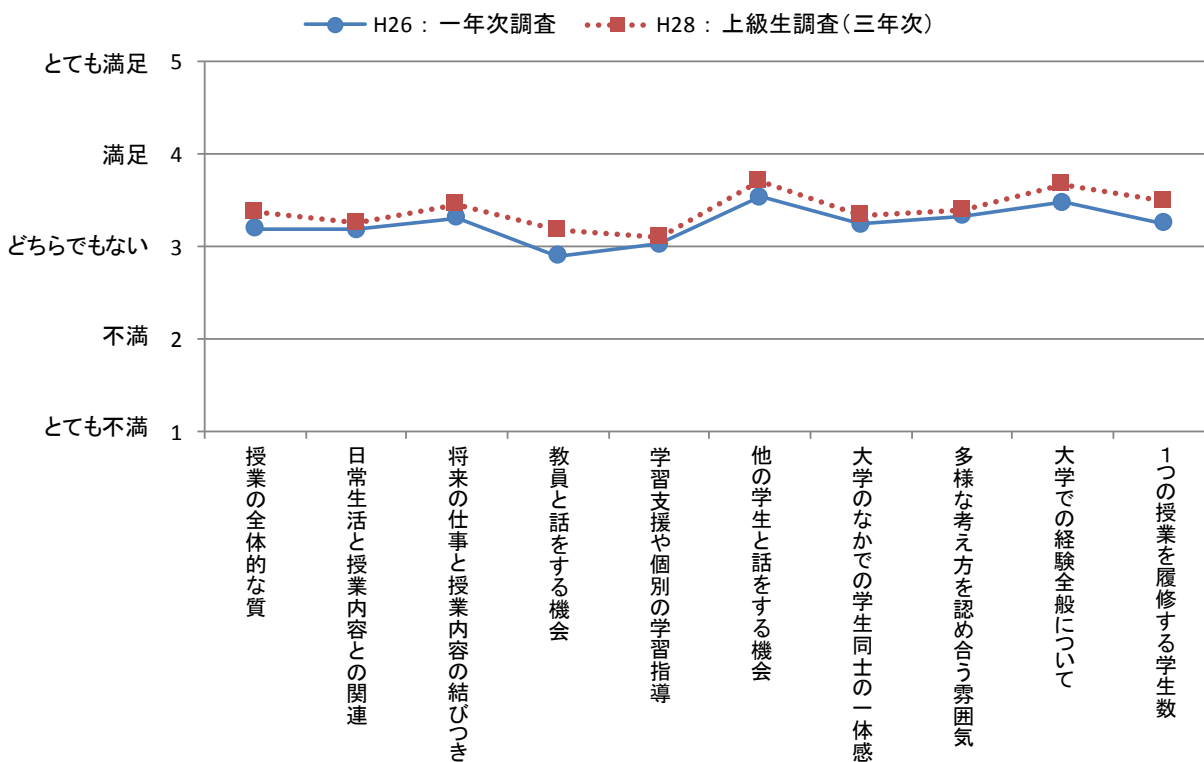
※) 授業ふり返りは、学習・教育支援サイト(ポートフォリオ)を通して学期末に学生が受講科目ごとに学修自己評価等を行うもの。「学修自己評価」では、各質問の回答平均値を授業開講部局別に掲載。「学生から見た授業」では、各項目の選択率を掲載(複数選択可能)。回答率20.8%(回答数20,912/延べ受講者数100,474)。

9-3 学生調査

入学時と比べた能力や知識の変化



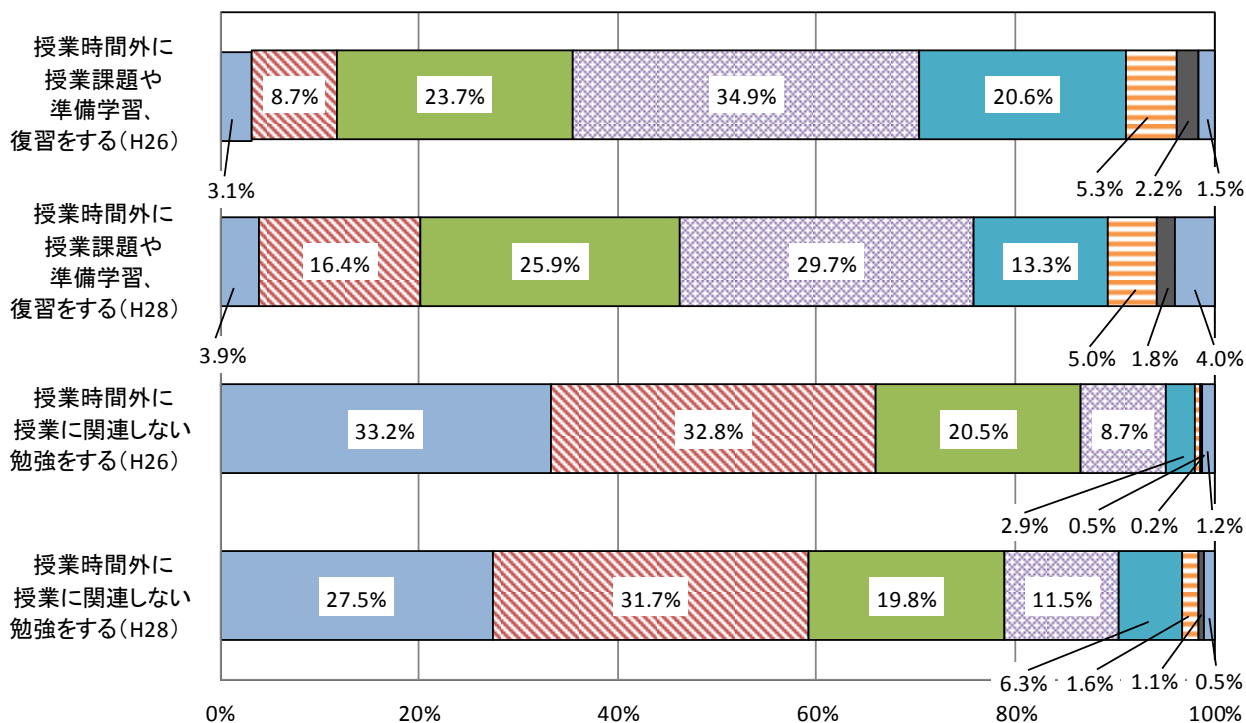
教育内容の満足度



1週間あたりに費やした時間

H26: 一年次調査
H28: 上級生調査(三年次)

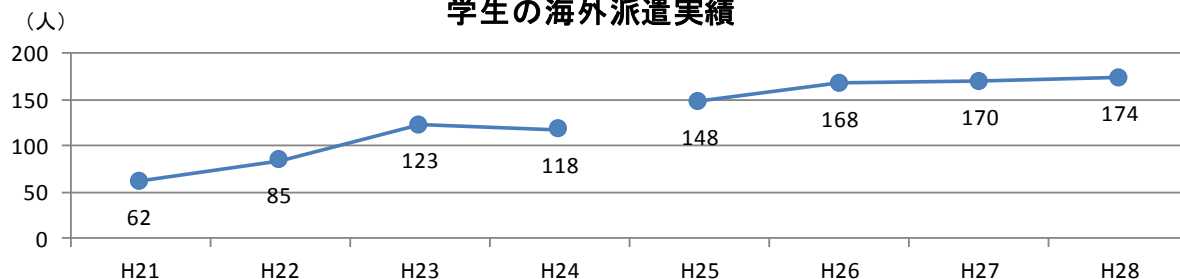
■ 全然ない ■ 1時間未満 ■ 1-2時間 ■ 3-5時間 ■ 6-10時間 ■ 11-15時間 ■ 16-20時間 ■ 20時間以上



※) 本学では、平成24年度大学間連携共同教育推進事業「教学評価体制による学士課程教育の質保証」の一環として大学IRコンソーシアム (<http://www.irnw.jp/>) が企画・作成した共通調査(一年生調査・上級生調査)・大学独自の調査(卒業・修了予定者アンケート)を実施し、大学運営や教育改革の効果検証に活用している。本調査結果は、平成26年度(一年次)の一年生調査と、平成28年度(三年次)の上級生調査のどちらも回答した学生938人の回答を基にグラフを作成している。

9-4 学生の海外派遣

学生の海外派遣実績



※) 平成21年度～平成24年度は全学生対象のもののみ。平成25年度以降はそれ以外のものも含むため、グラフを分けている。

○学域・学部・研究科別学生の海外派遣数(平成28年度)

(人)

学域・学部・研究科		長期 交換留学	短期 研究留学	語学研修等	その他の海外 プログラム	合 計
学域・学部	現代システム科学域	3	0	21	17	41
	工学域	1	0	17	1	19
	生命環境科学域	1	3	7	16	27
	地域保健学域	0	0	6	26	32
	生命環境科学部(獣医学科)	0	1	0	1	2
研究科	工学研究科	5	15	1	11	32
	生命環境科学研究科	0	1	1	8	10
	理学系研究科	0	0	0	1	1
	経済学研究科	0	0	0	0	0
	人間社会システム科学研究科	0	1	0	9	10
	看護学研究科	0	0	0	0	0
	総合リハビリテーション学研究科	0	0	0	0	0
合 計		10	21	53	90	174

○学年別学生の海外派遣数(平成28年度)

(人)

学年		長期 交換留学	短期 研究留学	語学研修等	その他の海外 プログラム	合 計
学域・学部	1年	0	0	13	8	21
	2年	1	0	28	24	53
	3年	3	0	8	22	33
	4年	1	2	2	6	11
	獣医5年	0	1	0	0	1
	獣医6年	0	1	0	1	2
	研究科	博士前期・修士課程1年	2	2	0	9
博士前期・修士課程2年		1	4	2	18	25
博士後期・博士課程1年		0	3	0	1	4
博士後期・博士課程2年		0	6	0	1	7
博士後期・博士課程3年		2	2	0	0	4
合 計		10	21	53	90	174

※1) 長期交換留学:学術交流協定校等に交換留学した者の人数、主に半年以上。(全学生対象、及び研究科、学部・学域単位で実施しているもの)なお、「トビタテ! 留学JAPAN」等の奨学金採用者の休学留学者も含む。

※2) 短期研究留学:短期研究留学をした主として大学院生の人数、主に1ヶ月以上。(全学生対象、及び研究科、学部・学域単位で実施しているもの)

※3) 語学研修等:語学研修(単位有)、海外プログラム(単位認定無し)(全学生対象)に参加した者の人数、主に1ヶ月未満。

※4) その他の海外:プログラム上記①～③以外で、研究科・学部、学域単位で実施している海外プログラムに参加した者の人数、主に1ヶ月未満。

※5) ※1～※4の派遣先は学術交流協定校以外も含む。

※6) その他、語学研修等に高専専攻科学生2名が参加

9-5 インターンシップ

○インターンシップ科目単位認定者数(平成28年度)

(人)

学域・学部・研究科	科目数	受講者数		主な実習先
			単位 修得者数	
現代システム科学域	6	18	18	官公庁、団体・企業、海外
工学域	10	10	10	官公庁、団体・企業
生命環境科学域	4	21	21	官公庁、団体・企業
地域保健学域	2	30	30	官公庁、団体・企業、海外
工学部	10	0	0	-
生命環境科学部	5	1	0	-
人間社会学部	5	0	0	-
工学研究科	9	22	21	官公庁、団体・企業
生命環境科学研究科	1	1	1	官公庁、団体・企業
合 計	52	103	101	

○インターンシップ参加者数(平成28年度)

(人)

学域・学部・研究科	参加者数	主な実習先
現代システム科学域	20	NPO、官公庁、団体・企業
工学域	2	官公庁、団体・企業
生命環境科学域・学部	13	官公庁、団体・企業
地域保健学域	3	官公庁、団体・企業
工学研究科	4	官公庁、団体・企業
人間社会システム科学研究科	1	官公庁、団体・企業
合 計	43	

※) 学生課キャリアサポート室把握分

9-6 高度人材育成プログラム

○博士前期課程対象(平成28年度)

(人)

研究科	TEC受講者数	
		単位 修得者数
工学研究科	385	377
生命環境科学研究科	72	70
理学系研究科	67	66
経済学研究科	0	0
人間社会システム科学研究科	26	26
看護学研究科	2	2
総合リハビリテーション学研究科	1	1
大阪市立大学生	3	3
合 計	556	545

○博士後期課程対象(平成28年度)

(人)

研究科	TEC-I 受講者数		TEC-II 受講者数		TEC-III 受講者数		TEC-IV 受講者数		(参考)※ TEC-IV グループ 構成員数
	単位 修得者数	単位 修得者数	単位 修得者数	単位 修得者数	単位 修得者数	単位 修得者数	単位 修得者数		
工学研究科	5	5	33	29	3	3	0	0	0
生命環境科学研究科	0	0	6	5	1	1	1	1	3
理学系研究科	1	1	10	8	0	0	0	0	0
経済学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人間社会システム科学研究科	0	0	6	5	0	0	0	0	0
看護学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合リハビリテーション学研究科	0	0	4	2	0	0	0	0	0
合計	6	6	59	49	4	4	1	1	3

※) TEC-IVはグループ演習のため、受講者とは別にグループ構成員として講義に参加した学生を掲載。

<p>○TEC-I :ビジネス企画特別演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス企画書作成に向けた演習形式のグループダイアログとプレゼンテーションを実践 ・企業経験者によるマンツーマンの指導
<p>○TEC-II :産学連携特別演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MOT(Management of Technology) の基礎及び企業研究者に必要な素養を学びキャリアパスを開拓 ・現役企業経営者等から産業界から講師陣を招聘 ・博士前期課程では、TECという名称で同様の講義を開講
<p>○TEC-III :企業研究特別演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月以上のインターンシップによる企業研究実践 ・事前学習(派遣前講座)を実施
<p>○TEC-IV :研究リーダー養成特別演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ型企業実習を通したリーダーシップ教育 ・企業研究リーダーに必要なプロジェクトマネジメント能力を実践的に学習 ・事前学習(派遣前講座)と個別ダイアログ形式の事後学習を実施

○学生のセミナー参加者数(H28年度)

・インタラクティブ・マッチング (のべ数、人)

研究科等		参加者数
博士後期	工学研究科	9
	生命環境科学研究科	3
	理学系研究科	2
	その他研究科(※2)	17
ポストドク	工学研究科	0
	生命環境科学研究科	0
	理学系研究科	1
	その他研究科(※2)	5

※1) インタラクティブ・マッチングとは、ポストドクター・博士課程学生による自己アピールと企業参加者とのキャリアマッチングのイベント。

※2) その他研究科には大阪市大、兵庫県大を含む。

・キャリアパス支援特別講義 (のべ数、人)

学域・研究科等		参加者数
学域	工学域	2
	地域保健学域	125
博士前期	工学研究科	8
	生命環境科学研究科	17
	理学系研究科	3
博士後期	工学研究科	11
	生命環境科学研究科	4
	理学系研究科	7
ポストドク	工学研究科	1
	生命環境科学研究科	0
	理学系研究科	1
	その他研究科	0
教員		8
職員		3

※3) キャリアパス支援特別講義とは、博士前・後期課程学生とポストドクターを対象にしたキャリアパス支援のための講義。

9-7 大学院生の論文発表・学会発表等

○大学院生の論文発表数

(件・人)

研究科	H24			H25			H26			H27			H28		
	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数
工学研究科	446	336	848	409	310	914	422	310	883	425	340	881	361	234	945
生命環境科学研究科	102	48	249	85	51	250	96	76	265	99	73	287	95	75	233
理学系研究科（欧文・査読付のみ）	44	44	215	69	69	219	73	73	231	72	72	214	55	25	214
経済学研究科	5	5	102	4	1	114	19	2	112	6	1	108	14	1	100
人間社会システム科学研究科	68	0	186	68	1	196	52	0	186	43	1	171	90	22	284
看護学研究科	4	0	88	5	0	86	9	1	82	6	0	90	7	0	83
総合リハビリテーション学研究科	22	1	79	32	5	74	19	2	80	31	12	86	31	10	80

○大学院生の学術講演・学会発表数

(件・人)

研究科	H24			H25			H26			H27			H28		
	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数
工学研究科	1,458	530	848	1,870	495	914	1,927	527	883	1,862	541	881	1,788	378	945
生命環境科学研究科	279	36	249	225	25	250	277	34	265	331	30	287	273	37	233
理学系研究科（欧文・査読付のみ）	254	8	215	294	24	219	354	48	231	319	49	214	271	56	214
経済学研究科	5	5	102	6	1	114	13	3	112	11	2	108	16	2	100
人間社会システム科学研究科	87	9	186	75	9	196	36	4	186	57	1	171	116	0	284
看護学研究科	13	3	88	18	3	86	39	3	82	23	5	90	10	1	83
総合リハビリテーション学研究科	84	4	79	82	6	74	80	15	80	101	13	86	89	2	80

○大学院生の学会賞受賞数

(件・人)

研究科	H24			H25			H26			H27			H28		
	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数	件数	国際 海外 学会表 数・	学生 数
工学研究科	114	22	848	118	29	914	112	27	883	136	35	881	173	49	945
生命環境科学研究科	10	0	249	14	1	250	21	2	265	21	4	287	14	3	233
理学系研究科（欧文・査読付のみ）	10	0	215	10	0	219	14	4	231	15	6	214	6	2	214
経済学研究科	1	1	102	0	0	114	0	0	112	1	1	108	0	0	100
人間社会システム科学研究科	0	0	186	2	1	196	1	0	186	2	0	171	3	0	284
看護学研究科	0	0	88	0	0	86	4	0	82	0	0	90	0	0	83
総合リハビリテーション学研究科	5	0	79	3	0	74	2	0	80	4	0	86	0	0	80

※1) 学生数は、各年度5月1日現在。

※2) 人間社会学研究科は平成28年4月に人間社会システム科学研究科に名称変更した。

9-8 学長顕彰(学生)

○年度別表彰者数 (件)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
団体表彰	12	11	11	18	14
個人表彰	135	131	146	147	183
感謝状(団体・個人計)	10	4	2	1	1
合計	157	146	159	166	198

※) 対象となる学生・学生団体

- ・課外活動等で顕著な成績を収めたもの。
- ・ボランティア活動等社会奉仕活動で功績があったもの。
- ・災害防止又は災害時における救援活動に顕著な功績があったもの。
- ・研究活動等において顕著な功績を収めたもの。

9-9 ティーチング・アシスタント(TA)

○学生所属別TA採用人数 (のべ数、人)

研究科	H26	H27	H28
工学研究科	328	361	423
生命環境科学研究科	125	156	184
理学系研究科	132	133	146
経済学研究科	10	7	31
人間社会システム科学研究科	45	46	97
看護学研究科	19	26	23
総合リハビリテーション学研究科	10	22	24
合計	669	751	928

○配置先別TA採用人数 (のべ数、人)

学域・研究科等	H26	H27	H28
現代システム科学域	48	47	96
工学域	209	231	257
生命環境科学域	160	174	232
地域保健学域	41	60	65
高等教育推進機構	189	208	238
工学研究科	0	4	7
経済学研究科	0	0	1
人間社会システム科学研究科	12	13	18
ラーニングcommons	0	14	14
学術情報センター(オープンスペース)	10	0	0
合計	669	751	928

※1) のべ数のため、複数の科目を担当する場合は複数カウントとなる。試験担当のTAは含まない。

※2) 人間社会学研究科は平成28年4月に人間社会システム科学研究科に名称変更した。

9-10 FD活動

○FD活動開催回数(全学教員対象分)

(回)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
FDセミナー	1	2	3	1	3
大学院FDセミナー	1	0	0	0	0
その他	4	4	4	5	3
合計	6	6	7	6	6

○FD活動参加者数(全学教員対象分)

(人)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
教員数	349	144	196	185	108
職員数	91	14	104	74	20
学生数	229	4	9	24	1
その他	114	4	8	4	0
合計	783	166	317	287	129

※) FD活動とは、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組みの総称。その内容は多岐にわたるが、具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催など。平成19年4月1日施行の大学設置基準等の改正により、FD活動の実施が義務化された。

○FD活動詳細(全学教員対象分)(平成28年度)

区分	タイトル	開催日	参加者
新任教員FD研修	「学生調査から見た府大生の現状と課題」 「授業を育てる」	平成28年 4月8日	教員:12名(内対象教員:11名) 職員:1名
	ビデオ研修 「授業におけるICTの活用について」 「教務に関する各種業務について」 ※)平成28年度より新任教員FD研修の一部を、 録画ビデオの視聴によるビデオ研修とした。		
FDワークショップ 「大学教育再生加速プログラム」 (AP事業)	「学生の自己学習を促す『教材開発アプリ』の活用術」	平成28年 7月1日	教員:23名 外部:10名(他大学教職員等)
FDセミナー 「大学教育再生加速プログラム」 (AP事業)	「グループワークを豊かな学習活動とするために ージグソー法の理論的背景とその活用ー」	平成28年 11月4日	教員:34名 学生:1名 外部:11名(他大学教職員等)
セミナー 主催:中国語教育学会	「教育実践論文を書くための統計解析入門 ー授業実践を研究にー」	平成28年 11月26日	教員:5名 外部:23名(他大学教職員等)
FDセミナー 「大学教育再生加速プログラム」 (AP事業) 共催:グローバル化推進室	「専門科目でのディベートの効果的な活用」	平成28年 12月21日	教員:12名 職員:14名
FDセミナー 「大学教育再生加速プログラム」 (AP事業) 主催:地域保健学域総合リハビリ テーション学類	「学生の主体的・協調的な学びをもたらす反転授業 ～山梨大学の事例～」	平成29年 3月17日	教員:22名 職員:5名
その他	・授業ふり返り(授業アンケート) ・一年生調査 ・上級生調査 ・卒業生調査 ・学生FDスタッフ活動 ・刊行誌「フォーラム」発行(3回) ・ニューズメール配信(3回)		

10 学生支援

10-1 授業料減免

○授業料減免件数

(のべ数、人・千円)

区分	H24		H25		H26		H27		H28	
	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生
全学免除	125	60	135	56	124	40	170	44	126	60
半額免除	32	15	78	33	77	46	77	40	92	45
長期履修短縮に係る減免		1		1		0		0		1
災害減免	5	0	4	0	4	0	0	0	3	0
合計	162	76	217	90	205	86	247	84	221	106
減免総額	84,218		105,692		93,918		102,408		103,296	
減免比率	1.93%		2.43%		2.18%		2.42%		2.46%	

※1) 減免審査は半年に1回実施するため、上記件数は前期・後期の減免件数ののべ数である。

※2) 災害減免は、東日本大震災・熊本県に伴う被災者支援に実施した授業料減免である。

※3) 減免比率は減免総額の対授業料総額比を示している。

※4) 平成25年度より成績基準を緩和(上位1/3⇒1/2)し、減額(半額免除)枠を拡充した。

○私費留学生の授業料減免件数

(のべ数、人・千円)

区分	H24		H25		H26		H27		H28	
	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生
全学免除	19	23	18	33	31	63	19	64	14	77
半額免除	21	26	21	36	43	67	34	64	42	79
長期履修短縮に係る減免		0		0		0		1		0
合計	40	49	39	69	74	130	53	129	56	156
減免総額	34,541		39,765		39,587		35,229		40,587	
減免比率	0.79%		0.93%		0.92%		0.83%		0.97%	

※1) 平成25年度までは前期に通年の減免審査を実施。平成26年度以降は学期毎に審査を行っている。

平成23年～25年の件数は通年の減免件数に後期に入学した学生の減免件数を加えたもの。

※2) 減免比率は減免総額の対授業料総額比を示している。

10-2 奨学金

○奨学金利用件数(留学生を除く)

(のべ数、件)

奨学団体	H24		H25		H26		H27		H28		
	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	学域・学部生	大学院生	
貸与	日本学生支援機構奨学金	2,318	800	2,144	791	2,044	718	1,873	627	1,748	632
	無利子(第1種)	1,021	660	1,097	721	1,077	652	1,004	572	939	575
	有利子(第2種)	1,297	140	1,047	70	967	66	869	55	809	57
	民間奨学団体等	25	1	22	2	19	2	18	1	15	0
給付	民間奨学団体等	112	31	127	37	129	38	134	43	137	41
合計	2,455	832	2,293	830	2,192	758	2,025	671	1,900	673	
利用率	38.9%	47.0%	37.0%	44.8%	35.9%	41.2%	34.0%	36.5%	32.5%	35.4%	

※1) 民間団体のうち、一部貸与のある奨学金は給付に算入。

※2) 日本学生支援機構(第1種・第2種)の奨学金と民間奨学団体等の奨学金を重複して利用する学生がいるため、のべ件数を掲載。

※3) 利用率は、件数を各年度5月1日現在の学生数で割ったもの。

○留学生の奨学金利用件数

(のべ数、件)

奨学団体	H24			H25			H26			H27			H28		
	学域・学部生	大学院生	研究生等	学域・学部生	大学院生	研究生等	学域・学部生	大学院生	研究生等	学域・学部生	大学院生	研究生等	学域・学部生	大学院生	研究生等
文部科学省 (国費留学生)	1	11	3	1	13	5	0	19	7	0	25	3	1	26	1
日本学生支援 機構	5	5	2	6	5	1	7	5	0	6	4	0	5	4	0
民間奨学団体等	16	30	0	15	37	0	16	37	0	15	35	0	15	48	0
合 計	22	46	5	22	55	6	23	61	7	21	64	3	21	78	1

○博士後期課程特別研究奨励金支給件数

(件・千円)

研究科	H24	H25	H26	H27	H28
工学研究科	82	97	103	110	108
生命環境科学研究科	62	74	82	69	62
理学系研究科	33	32	27	21	25
経済学研究科	3	9	13	8	12
人間社会システム科学研究科	54	45	50	44	39
看護学研究科	1	3	3	15	14
総合リハビリテーション科学研究科	20	28	27	28	24
合 計	255	288	305	295	284
支給額	112,442	126,781	120,372	106,446	86,365
支給率	64.0%	68.0%	68.0%	65.0%	68.0%

※1) 博士後期課程特別研究奨励金とは、学生の博士後期課程への進学を促進し、本学の研究活動の高度化・活性化を図るための奨励金である。限度額は年学35万2千円(平成25年度までは、年額50万4千円)。

※2) 人間社会学研究科は平成28年4月に人間社会システム科学研究科に名称変更した。

10-3 学生相談

○学生なんでも相談室

(のべ数、件)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
相談件数	2,925	2,998	2,429	1,985	2,085

※) 学生なんでも相談室は、平成19年に設置され、学生を適切な行き先にワンストップで案内する総合案内所の役割を担っている。
主な相談内容: 履修関係、学内外施設等案内、自転車、落し物・忘れ物など

○WEB学生サービスセンター(WEBSC)「問い合わせ」

(のべ数、件)

相談内容	H24	H25	H26	H27	H28
教務関係	156	168	167	162	175
学生関係	61	51	62	36	36
その他	54	101	66	81	193
合 計	271	320	295	279	404

※) WEBSCは、文部科学省の平成19年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」採択事業である。「問い合わせ」コーナーは、大学・大学生生活に関して、担当がどこか分からなくても、内容についてWEBSCから直接メールにより回答するシステムである。

○学生相談室

(のべ数、件・人)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
相談件数	690	717	812	913	935
心理相談件数	616	592	614	694	696
相談者数	103	92	98	101	111

※) 学生相談室では、学習、進路、交友関係などについて、カウンセラー(臨床心理士)が相談に応じる。件数は面談のみの件数。相談者には保護者、教職員も含む。

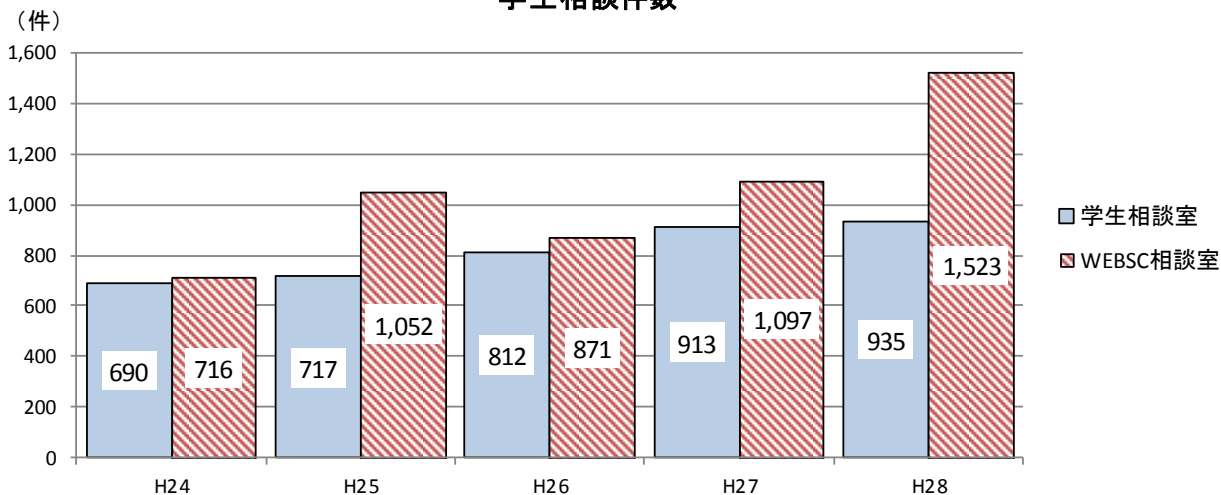
○WEB学生サービスセンター(WEBSC)「心の相談」

(のべ数、件・人)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
相談件数	716	1,052	871	1,097	1,523
心理相談件数	695	1,027	845	1,075	1,511
相談者数	116	194	164	182	168

※) WEBSC「心の相談」コーナーは、学生生活や将来の不安、異性、友人関係の悩み等様々な問題についてカウンセラー(臨床心理士)に相談できる。学生だけでなく、保護者からの相談も受け付けている。相談件数は、メール相談、テレビ電話、対人相談の合計件数。相談者には教職員も含む。

学生相談件数



○アクセスセンター

(のべ数、人)

区分	H27	H28
相談件数	5,160	8,092

注) アクセスセンターは、大学生活を送る中でなんらかの不自由さを感じている学生本人や周囲の学生・教職員からの相談にコーディネーター(社会福祉士・精神保健福祉士)が応じている。平成27年に設置。

10-4 後援会・校友会

○大阪府立大学後援会

学生生活の向上と大学の発展に寄与することを目的とした、学生の保護者を主な会員とする組織。主な事業として、学生の課外活動、福利厚生や就職活動に対する援助、教育研究環境の整備に対する援助を実施している。(会員数約5,100人)

○大阪府立大学校友会

卒業生に加えて、在学学生、教職員(退職者を含む)及び本会の賛助者を会員とし、会員相互の親睦と交流はもとより、大学と会員の密接な連携とコミュニケーションを促進し大学へ積極的な支援を行うことを目的に、平成21年9月、各学部・学科等(前身校を含む)の同窓会の連合体であった大阪府立大学同窓会を発展的に改組して発足した。(会員数約90,000人)

11 卒業・就職等

11-1 学位授与者数

○所属別学位授与者

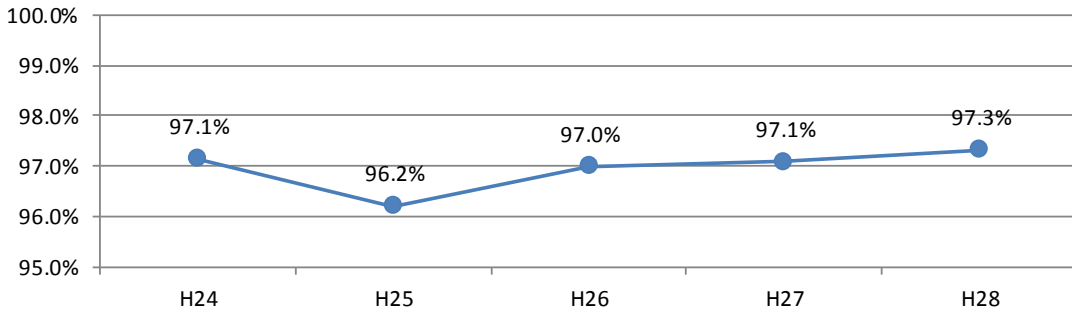
(人)

学域・学部・研究科		H24	H25	H26	H27	H28	累計(H17～)
学域・学部	現代システム科学域				286	309	595
	工学域				456	460	916
	生命環境科学域				257	248	505
	地域保健学域				237	261	498
	工学部	475	415	448	50	14	3,082
	生命環境科学部	169	169	189	43	47	1,223
	理学部	129	138	138	12	4	913
	経済学部	269	263	289	32	7	1,865
	人間社会学部	217	210	209	22	8	1,586
	看護学部	117	126	124	9	2	876
	総合リハビリテーション学部	75	79	79	2	1	520
	合計	1,451	1,400	1,476	1,406	1,361	12,579
	博士前期・修士	工学研究科	321	386	372	351	354
生命環境科学研究科		78	75	67	81	90	851
理学系研究科		84	79	94	90	89	862
経済学研究科		40	39	37	33	33	420
人間社会学研究科		29	42	41	40	37	407
看護学研究科		27	18	19	22	25	256
総合リハビリテーション学研究科		26	12	17	15	20	160
合計		605	651	647	632	648	6,501
博士後期・博士	工学研究科	34	32	32	34	42	295
	生命環境科学研究科(3年制)	9	7	9	5	9	74
	生命環境科学研究科(獣医学専攻)	3	6	9	10	15	71
	理学系研究科	1	11	10	7	6	65
	経済学研究科	0	0	0	3	4	22
	人間社会学研究科	3	8	6	7	13	65
	看護学研究科	5	4	5	7	7	38
	総合リハビリテーション学研究科	6	1	3	4	4	22
合計	61	69	74	77	100	652	
論文博士	工学研究科	3	0	2	1	0	26
	生命環境科学研究科	4	2	4	1	2	61
	理学系研究科	0	1	1	2	2	11
	経済学研究科	1	0	0	1	0	6
	人間社会学研究科	1	0	3	1	0	10
	看護学研究科	0	0	0	0	0	0
	総合リハビリテーション学研究科	0	0	0	0	1	1
	合計	9	3	10	6	5	115

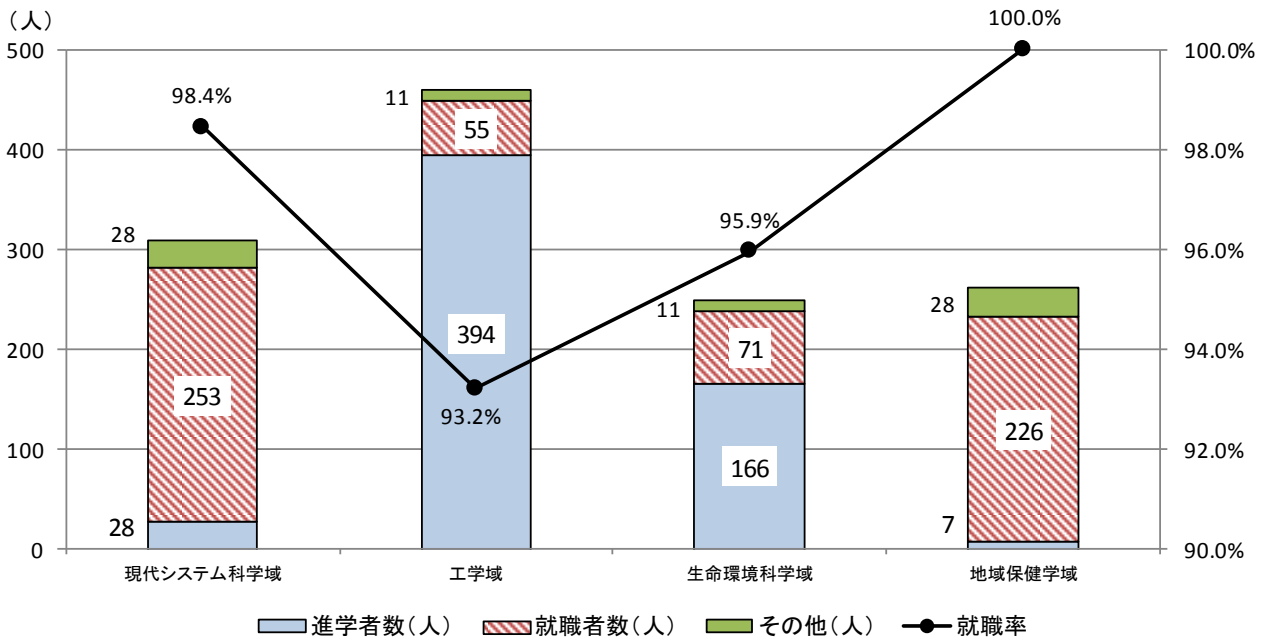
※) 平成17年4月に、大阪府立大学、大阪女子大学、大阪府立看護大学が再編・統合し、新大学となった。「累計(H17～)」欄では、平成17年以降に新大学に入学し本学を卒業・修了した学生数を示している。

11-2 就職者数(率)・府内就職者数(率)

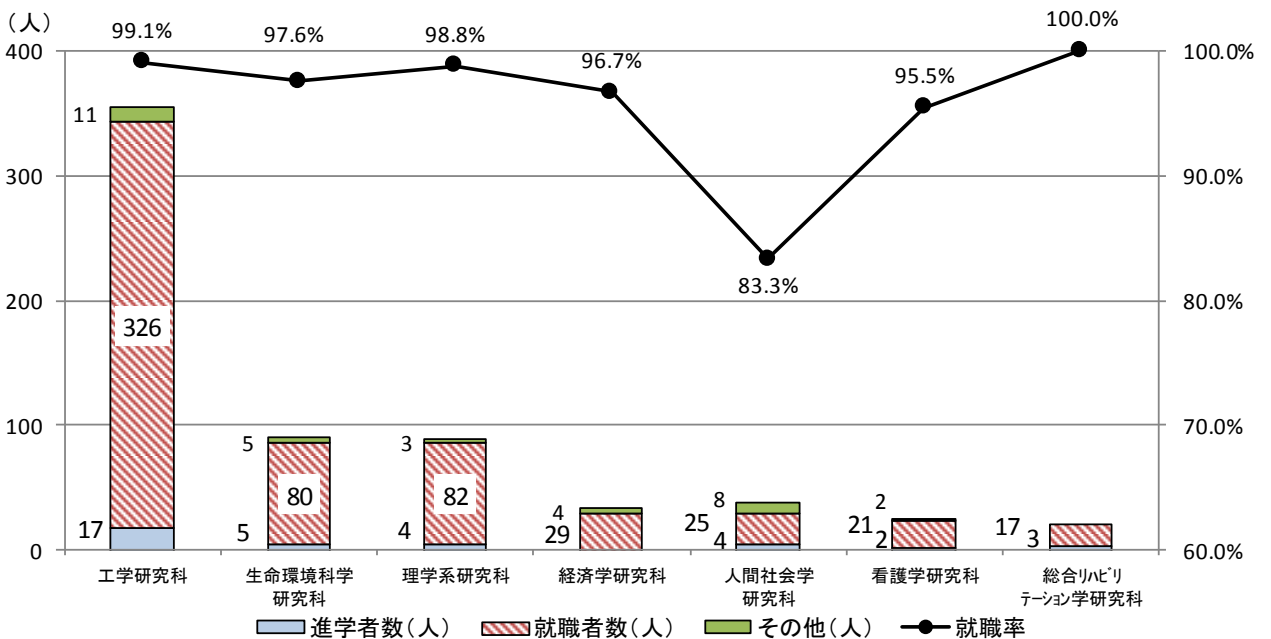
就職率(卒業者・修了者合計)



進学者、就職者、就職率比較(学域)



進学者、就職者、就職率比較(博士前期・修士課程)



○就職率内訳(平成28年度)

(人)

学域・学部・研究科	卒業生数	進学者数	就職希望者数	就職者数		就職率		
				府内就職者数	府外就職者数	府内就職率	府外就職率	
学域・学部	現代システム科学域	309	28	257	253	100	98.4%	39.5%
	工学域	460	394	59	55	17	93.2%	30.9%
	生命環境科学部	248	166	74	71	23	95.9%	32.4%
	地域保健学域	261	7	226	226	159	100.0%	70.4%
	工学部	14	2	12	11	5	91.7%	45.5%
	生命環境科学部(4年制)	1	0	1	0	0	0.0%	0.0%
	生命環境科学部(獣医学科)	46	3	39	38	14	97.4%	36.8%
	理学部	4	0	4	4	2	100.0%	50.0%
	経済学部	7	0	4	2	1	50.0%	50.0%
	人間社会学部	8	0	2	2	0	100.0%	0.0%
	看護学部	2	0	1	1	1	100.0%	100.0%
	総合リハビリテーション学部	1	0	1	1	1	100.0%	100.0%
	小計	1,361	600	680	664	323	97.6%	48.6%
博士前期・修士課程	工学研究科	354	17	329	326	85	99.1%	26.1%
	生命環境科学研究科	90	5	82	80	28	97.6%	35.0%
	理学系研究科	89	4	83	82	30	98.8%	36.6%
	経済学研究科	33	0	30	29	26	96.7%	89.7%
	人間社会学研究科	37	4	30	25	15	83.3%	60.0%
	看護学研究科	25	2	22	21	12	95.5%	57.1%
	総合リハビリテーション学研究科	20	3	17	17	9	100.0%	52.9%
	小計	648	35	593	580	205	97.8%	35.3%
博士後期・博士課程	工学研究科	38	1	30	27	9	90.0%	33.3%
	生命環境科学研究科	19	0	18	17	7	94.4%	41.2%
	理学系研究科	5	1	4	3	1	75.0%	33.3%
	経済学研究科	2	0	2	2	1	100.0%	50.0%
	人間社会学研究科	6	0	6	5	3	83.3%	60.0%
	看護学研究科	5	0	5	4	2	80.0%	50.0%
	総合リハビリテーション学研究科	4	0	4	4	2	100.0%	50.0%
小計	79	2	69	62	25	89.9%	40.3%	
合計	2,088	637	1,342	1,306	553	97.3%	42.3%	

※1) 府内就職者数は、本社が大阪府にある企業に就職した本学学生の数。

※2) 就職率(%)=就職者÷就職希望者×100、府内就職率(%)=府内就職者÷就職者×100。

11-3 就職先

○就職者3名以上の就職先(平成28年度)

(人)

就職先名	就職者数	就職先名	就職者数	就職先名	就職者数
大阪府立病院機構	50	凸版印刷	4	興和	3
三菱電機	15	大和証券	4	サカイ引越センター	3
大阪府	14	大阪市立総合医療センター	4	三菱ケミカル	3
川崎重工業	13	本田技研工業	4	シマノ	3
堺市	12	大和ハウス工業	4	丸大食品	3
パナソニック	12	りそな銀行	4	エヌ・ティ・ティ・データ	3
トヨタ自動車	11	ジェイテクト	4	阪神電気鉄道	3
デンソー	9	クボタ	4	ネオキャリア	3
日立造船	7	紀陽銀行	4	三井造船	3
日立製作所	7	村田製作所	4	ワークスアプリケーションズ	3
大阪大学医学部附属病院	7	ローム	4	山崎製パン	3
三井住友銀行	7	ヤンマー	4	近畿大阪銀行	3
神戸製鋼所	7	日本食品分析センター	4	関西電力	3
三菱重工業	6	ダイハツ工業	4	池田泉州銀行	3
大阪府立大学	6	関西医科大学附属病院	4	マツダ	3
SCSK	6	日本赤十字社	4	ウシオ電機	3
ダイキン工業	6	住友電気工業	3	ヤフー	3
日産自動車	5	住友化学	3	GSユアサ	3
西日本電信電話(NTT西日本)	5	西日本旅客鉄道(JR西日本)	3	千里リハビリテーション病院	3
関電システムソリューションズ	5	日東電工	3	NECソリューションイノベータ	3
関西電力 関西電力病院	5	積水化学工業	3	UCC上島珈琲	3
国立循環器病研究センター	5	全日本空輸	3		
花王	5	日本電産	3		
イオンリテール	5	ペガサス 馬場記念病院	3		
日本生命保険相互会社	4	三井住友信託銀行	3		

○産業別就職者数(平成28年度)

(人)

区分	就職者数	区分	就職者数	区分	就職者数
A 農業・林業	1	H 運輸業・郵便業	29	O 教育・学習支援業	53
B 漁業	0	I 卸売・小売業	78	P 医療・福祉	214
C 鉱業・採石業、砂利採取業	0	J 金融・保険業	77	Q 複合サービス事業	4
D 建設業	26	K 不動産業・物品賃貸業	16	R サービス業	33
E 製造業	432	L 学術研究・専門・技術サービス業	77	S 公務	81
F 電気・ガス・熱供給・水道業	9	M 宿泊業、印刷サービス業	6	Z その他・不明	54
G 情報通信業	110	N 生活関連サービス業、娯楽業	6	合計	1,306

○企業規模別就職者数(平成28年度)

(人)

従業員数	就職者数	従業員数	就職者数
10,000人以上	236	100~499人	141
5,000~9,999人	103	1~99人	44
1,000~4,999人	249	不明	102
500~999人	99	合計	974

11-4 就職支援イベント

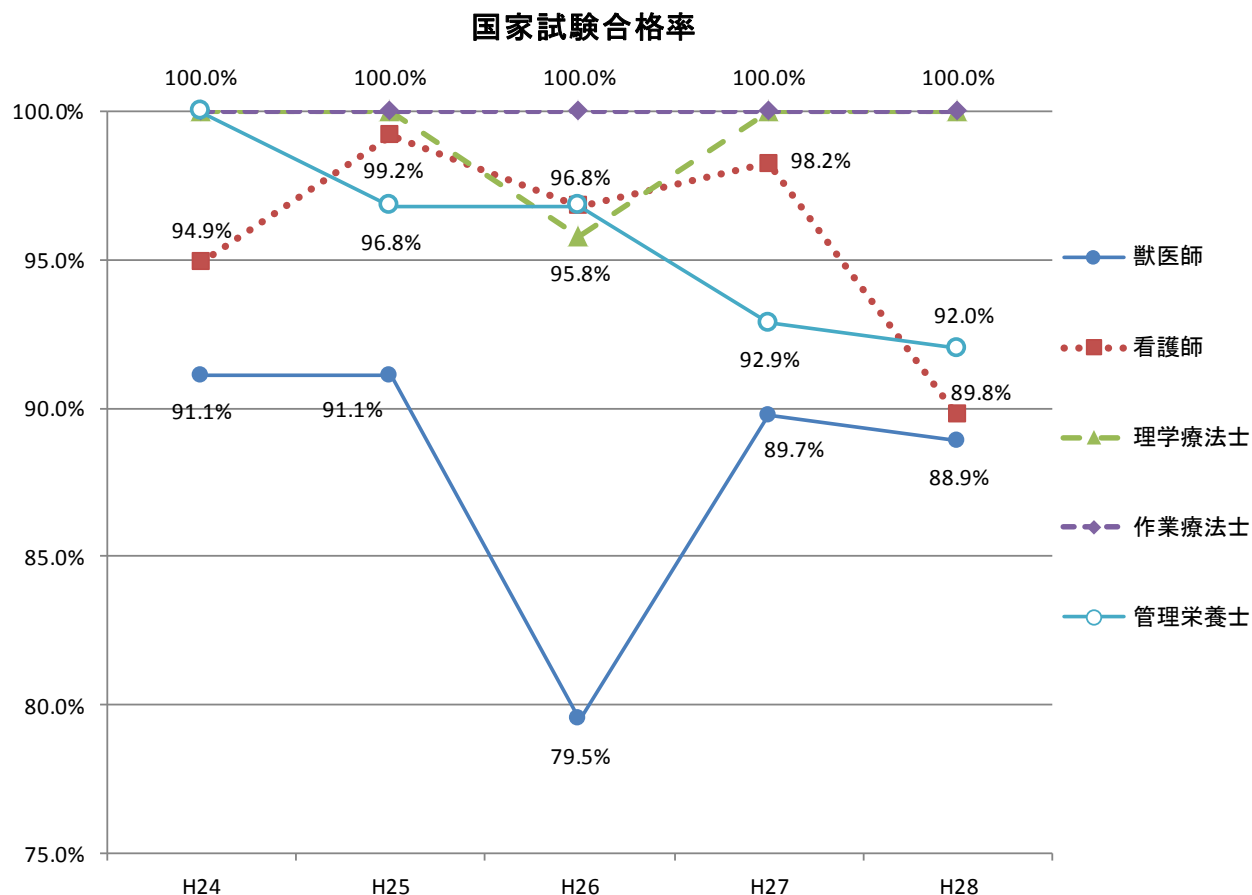
○イベント別開催件数・参加企業、学生数

(回・件・人)

就職支援イベント	H26			H27			H28		
	開催回数	参加企業数	参加学生数	開催回数	参加企業数	参加学生数	開催回数	参加企業数	参加学生数
就活スタートアップガイダンス・セミナー	8	—	1,143	18	—	1,038	6	—	705
仕事理解講座	27	30	1,203	18	18	654	14	14	321
企業説明会(合同)	19	363	3,159	23	439	2,972	19	350	3,317
産業界のニーズ事業	1	—	※						
エントリーシート添削	20	—	61						
インターンシップガイダンス	5	—	559	6	—	418	5	—	645
部局別就職ガイダンス	10	—	399	11	—	339	12	—	311
公務員・教員対策	1	—	62	4	—	164	3	—	170
先輩社会人交流セミナー	2	—	68	2	—	95	2	—	29
保護者向け進路ガイダンス	1	—	135	1	—	214	1	—	124
社会研究関連講座	14	23	814	14	143	971	8	14	654
グループディスカッション研修	5	2	81	5	—	136	56	—	541
模擬面接、集団面接	3	—	29	5	—	25			
グループワークショップ				50	1	389			
合計	116	418	7,713	157	601	7,415	116	378	6,817

※) 公開型イベントのため、参加学生数は不明。

11-5 国家試験合格率



○資格別国家試験合格率(平成28年度)

(人)

区分	獣医師	社会福祉士	看護師	保健師	助産師	理学療法士	作業療法士	管理栄養士
新卒受験者数	45	35	127	27	10	25	25	25
新卒合格者数	40	24	114	27	8	25	25	23
新卒合格率	88.9%	68.6%	89.8%	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%	92.0%
全国新卒合格率	90.4%	45.4%	94.3%	94.5%	93.2%	96.3%	90.5%	92.4%
全国合格率(既卒含む)	81.8%	25.8%	88.5%	90.8%	93.0%	90.3%	83.7%	54.6%

11-6 教員免許取得状況

○免許状種類別取得者数(学域生)(平成28年度)

(人)

校種	種別	教科	現代システム科学	工学	生命環境科学	地域保健(教育福祉学類)	地域保健(看護学類)	地域保健(総合リハビリテーション学類)	合計
中学校	1種	社会	3			6			9
		数学		5					5
		理科		3	6				9
高等学校	1種	数学		9					9
		理科		8	27				35
		公民	6			2			8
		農業			1				1
		工業		3					3
		情報	1	4					5
		福祉				3			3
養護教諭1種							13		13
栄養教諭1種								7	7
合計			10	32	34	11	13	7	107

○免許状種類別取得者数(学部生)(平成28年度)

(人)

校種	種別	教科	工学	生命環境科学	理学	経済学	人間社会学	合計
中学校	1種	理科	0	1	0			1
高等学校	1種	理科	0	1	0			1
合計			0	2	0	0	0	2

※1) 斜線部分は、当該学域・学部・研究科で資格が取得できないもの。

0は、当該学域・学部・研究科において資格が取得できるが、その取得者がなかったもの。

※2) 学部生は、実際に取得のあった免許状のみ掲載している。

○免許状種類別取得者数(大学院生)(平成28年度)

(人)

校種	種別	教科	工学	生命環境科学	理学系	経済学	人間社会学	合計
中学校	1種	国語					0	0
		社会				0	0	0
		数学	1		0			1
		理科	0	0	0			0
		英語					0	0
高等学校	1種	国語					0	0
		数学	1		0			1
		理科	0	2	0			2
		地理歴史				0	0	0
		公民				0	0	0
		英語					0	0
		農業		0				0
		工業	1					1
		商業				0		0
		情報	1		0			1
		福祉					0	0
中学校	専修	国語					1	1
		社会				0	1	1
		数学	1		0			1
		理科	0	1	4			5
		英語					1	1
高等学校	専修	国語					1	1
		数学	1		0			1
		理科	0	1	7			8
		地理歴史				0	1	1
		公民				0	0	0
		英語					1	1
		工業	0					0
		商業				0		0
		情報	0		1			1
		福祉					0	0
合計			6	4	12	0	6	28

※) 斜線部分は、当該学域・学部・研究科で資格が取得できないもの。

0は、当該学域・学部・研究科において資格が取得できるが、その取得者がなかったもの。